

平成30年度 愛知県神社庁仙台慰霊祭

県神社庁は7月11日、宮城県仙台市青葉区小松島にある仙台常盤台霊苑陸軍墓地にて戦歿者慰霊祭を斎行し、関係者197人が参列しました。神社庁では毎年、戦歿者の慰霊と世界の平和を祈る旅をおこない、国内外の戦地で慰霊祭を斎行していますが、今年は10日から12日までの日程で「今上陛下御即位30年記念 愛知県神社庁仙台常盤台霊苑陸軍墓地慰霊祭の旅」を開催。今次の大戦を始め、幾多の戦役で散華された県内外同胞を偲び、明治維新150年の節目でもある本年はガダルカナル島やビルマ戦線での激戦で知られる第二師団が置かれた東北の地にある、仙台常盤台霊苑陸軍墓地を斎場として、戦没者の慰霊祭並びに世界恒久平和を祈る祭りを斎行しました。祭典は、来賓として宮城県神社庁理事の田中於菟彦宮城県護國神社権宮司参列のもと、白井清夫副庁長が斎主を務めて斎行。祭壇には、県内から持参した日本酒や水、菓子などの庭積神饌が供えられ、神尾俊治県神社総代会副会長による慰霊の言葉の奉読に続き、愛知県護國神社の舞姫が「みたま慰めの舞」を奉奏しました。当日は全国的に猛暑が伝えられるなか、曇天となり、ガダルカナル島でのジャングルには及ばないものの、諸英霊の往時が偲ばれる厳粛な内に祭典が執り進められました。

続いて参列者全員が、持参した榊で調製された玉串を奉って拝礼をおこない、今次の大戦において戦没された全ての御霊の平安を祈念。祭典後には牧野武彦庁長並びに田中理事が挨拶しました。祭典終了後は青葉城址公園内にある宮城県護國神社を正式参拝し、神社内の宝物館等を拝観。当日の宿泊先であるホテル松島大観荘へ移動し、夕刻、同宿所にて直会が行われました。直会に先立ち、牧野愛知県神社庁長、来賓として鍵三夫宮城県神社庁長が挨拶、慰霊祭斎主である白井副庁長が乾杯の発声の下、執り行われました。愛知県の一団は12日志波彦神社塩竈神社を正式参拝し、帰着の途につきました。



白井副庁長祭詞奏上



「みたま慰めの舞」奉奏



参列者玉串奉奠



牧野庁長挨拶